

全国商工会議所青年部連合会

〒100-6005東京都千代田区丸の内3-2-2

【日本商工会議所中心企業会館内】

TEL.03-3283-7847

広報委員会

担当部長 吉藤 隆一 部長 田村 正和

吉田 豊利 / 安藤 寿男 / 大西 一司

奥野 清 / 山下 七帆 / 水澤 真樹

しょうせい 翔生



YEG
Spirited Logistics

日本商工会議所青年部連合会が発行する月刊誌「翔生」は、全国の商工会議所青年部の活動や、企業界の動向、社会情勢などを取り上げ、読者の目線から、企業の成長や社会の発展に貢献することを目的としています。また、読者の声や意見も積極的に取り上げ、読者と密着した関係性を築いていきます。

平成13年度

会長・副会長・専務理事挨拶

本年度スローガン

「連携YEG実践展開・ バーチャルからリアルへ」



平成13年度
全国商工会議所青年部連合会
会長 吉泉 幸一

古泉流構造改革 「開かれた商青連」

21世紀の始まりは、社会全体が閉塞感に包まれたままスタートいたしました。経済界も長きにわたる不況の中で、日本がもたらした影響の甚大さに驚かされています。時間をおいていただくと、回復するまではまだまだ時間が必要とされていると思います。

中小企業全体の今は弱行健闘の連続と、大膽な改革を必要とされています。私たちの経営環境は出口の見えない閉塞と新しい状況といえます。

そんな中、商工会議所青年部に地域は大きな期待を寄せられています。自らの企業や店舗を通じて私たちは先陣に貢献してまいりました。これからは私たちは地域を創っていく必要があります。そしてそれが地域経済の活力となり、経済界の発展につながることを目指します。企業が活躍するために今まではと違っ新しい枠組みの構築、身の丈にあった経営の確立など構造改革をしていかなくてはなりません。

その為には全国商工会議所青年部連合会はどうあるべきかを考え、連盟に付する方向性を示していくことが必要だと考えます。その方向性を確認することで、自企業の経営者に対する目標にもなっていくと思います。また連盟問題は積極的に行うべきです。超高度社会の進行の不良循環克服、そして日増しに迫る人口減少の問題。今までの経営における価値観を根本から変えていかなくてはならないと感じております。そのためにも青年部の枠組みを利用して、様々な方向性を発見し、実践していきたいと思っております。

今年度の商青連を、「開かれた商青連」としたいと考えています。先行き未知の難しき現在において、全国商工会議所からの情報量の差が経営決定と方向性に大きな要因となるべきです。全国商工会議所、また付する情報の発信を心がけていきたいと思っております。そしてまた、開かれたという言葉の中には、誠実さや謙遜さ、意見を交わす場や意見を通じたいという思いも含んでいます。商青連の役員会においても、各県における商青連等においてもそうあって欲しいと思っております。會員の皆様との間に苦しい商青連にしたいと考えていますので、どうか協力をお願いいたします。



副会長 大 腦 唯 眞

「丸となつて 古泉丸の大漁を！」

21世紀の始まりは、社会全体が閉塞感に包まれたままスタートいたしました。経済界も長きにわたる不況の中で、日本がもたらした影響の甚大さに驚かされています。時間をおいていただくと、回復するまではまだまだ時間が必要とされていると思います。



専務理事 関 根 敏 伸

熱気と チャレンジ精神

21世紀の始まりは、社会全体が閉塞感に包まれたままスタートいたしました。経済界も長きにわたる不況の中で、日本がもたらした影響の甚大さに驚かされています。時間をおいていただくと、回復するまではまだまだ時間が必要とされていると思います。



副会長 首 藤 俊 一郎

自分たちで 創り出す！

21世紀の始まりは、社会全体が閉塞感に包まれたままスタートいたしました。経済界も長きにわたる不況の中で、日本がもたらした影響の甚大さに驚かされています。時間をおいていただくと、回復するまではまだまだ時間が必要とされていると思います。



副会長 辻 伸 吾

我々のビジネス 構造改革を実現

21世紀の始まりは、社会全体が閉塞感に包まれたままスタートいたしました。経済界も長きにわたる不況の中で、日本がもたらした影響の甚大さに驚かされています。時間をおいていただくと、回復するまではまだまだ時間が必要とされていると思います。



副会長 鈴 木 肇

日本経済活性の 起爆剤

21世紀の始まりは、社会全体が閉塞感に包まれたままスタートいたしました。経済界も長きにわたる不況の中で、日本がもたらした影響の甚大さに驚かされています。時間をおいていただくと、回復するまではまだまだ時間が必要とされていると思います。

委員会紹介

総務委員会



総務委員会は総務6名で構成しております。主な業務である総会・役員会の開催に加え、新卒・役員会議を開催しております。

また本会会長の御めいたYEGとの協働・提携の推進・委員会・ブロック代表理事会の各会議等をホームページ上に掲載いたします。併せてホームページの運用や各種広報等の管理に関する統一的な規定も制定し、定章を策定して、構築が図られている組織（若手研修者等育成事業）に関する調査・情報収集を行いホームページ上にて提供させていただきます。なお、私生活等及び各事業に調査票を提出していただき、情報のご提供をよろしくお願いいたします。これは各種会議資料の電子化に関する提案をさせていただきます。

最後に今後の取組のあり方について、委員会メンバーが全国各島のYEG会員の皆様から教育連に対する御期待を伺い上げ、報告書や今後の方向性を提示してまいりますのでご意見をぜひご意見をぜひお寄せください。

今後とも各委員会に対し、ご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

企画委員会



私たちは企画委員会は、大層副会長のご指導のもと7名のメンバーで活動しています。活動の内容は、教育連主催の大会である全国大会、全国会長研修会の成功をお手伝いします。なんと、前年度の中では、もっとも集客の大会で、そして会場の会員の方々にはお食事を体験して頂くことが出来る素晴らしい大会です。主催される各県連・単会の皆さんの思い、主催者である教育連の方針がうまくコラボして行かなくてはならない大会となるよう統一目標を持って活動していきます。もちろん今年度の大会だけでなく、翌年・翌々年の大会に関する期間中や日程の決定、基本コンセプトの確立など活動内容は結構多岐にわたります。

また、今年度からブロック大会の役員選考についてもお手伝いすることになりました。各ブロック大会には大層副会長と企画委員が協力を入れて参加いたしますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

広報委員会



現在、広報委員会では、ホームページの逐次更新と、機関紙「翔」の印刷作成に奮闘しております。今までは印刷枚数が少なかったホームページ・翔生を全国のメンバーの集約とするご目標に、13あるブロックのホームページを連携してご紹介しております。

13年度開始から14年度、15年度から16年度、委員会メンバーが手探りでいろいろの役割を分担してまいりました。その企画は、以下のものです。

1. 各ブロックのホームページの更新を依頼してご紹介しております。
2. ホームページの利用促進を高めるために、各種大会の開催を掲載したり、アンケートの調査を発行して内容を充実させている。

またホームページに全国の研修イベントを掲載し、単元的な研修を始める一助となる。広報の推進は、印刷も必ずしも必要ではないため、記事を中心にホームページと連携させていく。上記の企画を行っていただき、全国のメンバーの賛成ご支援をお願いして委員会報告と致します。

研修委員会



研修委員会のメンバーは、副副会長以下7名という、教育連の委員会の中で一番少ない人数で活動しています。しかし、少数精鋭という言葉がぴったりの責任感のあるメンバーで、委員会も各ブロックで内容のある、素晴らしい企画、運営をしております。当委員会の担当している「翔生」と「ヤングリーダー研修」の2つの大きな事業は、全国3万人の一般公募で集まってきた研修生です。それゆえに内容も魅力的な大会に企画することが絶対条件といえるので、たいへんメンバーの熱意と知恵が注ぎ込まれています。

しかし、そんなことをやっていこうと、すでに「翔生」は思いがけず2800名を超えるという男女が参加しましたが、なんとお集まることができました。成功か失敗かは事業に参加していたいた研修生に決めていただくとして、結果に事変なく運営できたことに満足しています。嬉しいことは年度末の報告書を楽しみにしていただきたいと思います。いま、後継委員会メンバーは、次なる事業「ヤングリーダー研修」の企画に取り組みしています。「参加してよかった」と言ってもらえるように、準備していった先のことでも多くのYEGメンバーの参加にお祈りしております。

ブロック紹介

役員紹介



■ 会長
有橋 純造
(東京都)



■ 副会長
加城 拓史
(北海道)



■ 総務
千葉 富士夫
(宮城県)



■ 相談役
吉本 博次
(奈良県)

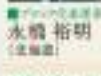


■ 相談役
北島 重利
(徳島県)

北海道ブロック



■ 会長
国枝 憲二 (北海道)

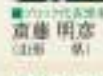


■ 副会長
大橋 裕明
(北海道)

東北ブロック



■ 会長
鈴木 順三 (宮城県)
藤崎 忠邦 (青森県)
佐藤 利明 (岩手県)
高橋 茂 (秋田県)
阿部 幹雄 (山形県)
西村 修 (福島県)



■ 副会長
宮藤 明彦
(山形県)

北陸信越ブロック



■ 会長
山ノ下 武志 (富山県)
松本 仁 (石川県)
野澤 真人 (長野県)

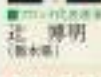


■ 副会長
鈴木 啓富
(新潟県)

関東ブロック



■ 会長
宮田 豊和 (茨城県)
宮川 吉昭 (群馬県)
安藤 秀男 (埼玉県)
関 学 (千葉県)
鈴木 郁介 (神奈川県)
渡部 廣弘 (静岡県)

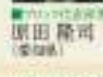


■ 副会長
芝 博明
(東京都)

東海ブロック



■ 会長
大西 一司 (岐阜県)
笠間 清 (静岡県)
山本 和正 (愛知県)



■ 副会長
原田 隆司
(愛知県)

近畿ブロック



■ 会長
金 央信 (滋賀県)
竹原 繁明 (京都府)
岩崎 進彦 (大阪府)
木下一成 (兵庫県)
水本 和真 (奈良県)
山岸 寛士 (和歌山県)
西岡 基博 (徳島県)



■ 副会長
杉本 登
(和歌山県)

中国ブロック



■ 会長
清水 雅文 (高知県)
渡部 哲弘 (高知県)
仁田 一郎 (広島県)
光永 武 (山口県)

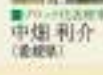


■ 副会長
中塚 勉一郎
(岡山県)

四国ブロック



■ 会長
原田 和典 (徳島県)
山下 仁規 (高知県)
味本 豊 (高知県)
越智 英俊 (愛媛県)

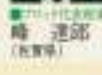


■ 副会長
中畑 利介
(愛媛県)

九州ブロック



■ 会長
上田 崇仁 (佐賀県)
木村 寿宏 (熊本県)
河野 巧 (大分県)
水澤 高樹 (福岡県)
松下一郎 (鹿児島県)
新里 建二 (沖縄県)
宗野 和博 (福岡県)



■ 副会長
峰 達郎
(佐賀県)

アントレプレナーズ委員会紹介

新世紀！
起業家精神が日本を変える価値と感動
そして共感を地域社会へ！

アントレプレナーズ委員会委員長
越智 英俊 会長 越智 直三

平成13年度アントレプレナーズ委員会は、「起業家精神が日本を変える価値と感動」をテーマとして、多岐にわたる活動を通じて、全国からの起業家の方々と連携し、地域社会の活性化に貢献しました。

「夢」「目標」や「ビジョン」を持つ仕事をしているか
「超プラス思考」の起業家マインド
自立想像型の相互支援

「夢」「目標」や「ビジョン」を持つ仕事をしているか
「超プラス思考」の起業家マインド
自立想像型の相互支援



「超プラス思考」の起業家マインド
私生活では人間的な成長を促す「超プラス思考」が、仕事でも必要になります。何か新しいことを始める際には、必ずしも「超プラス思考」が求められるわけではありません。むしろ、現実的な判断が求められる場面も多くあります。しかし、この「超プラス思考」が、困難な状況に陥ったときに、気持ちを切り替えて、新しい道を見出す力になります。

「超プラス思考」の起業家マインド

私生活では人間的な成長を促す「超プラス思考」が、仕事でも必要になります。何か新しいことを始める際には、必ずしも「超プラス思考」が求められるわけではありません。むしろ、現実的な判断が求められる場面も多くあります。しかし、この「超プラス思考」が、困難な状況に陥ったときに、気持ちを切り替えて、新しい道を見出す力になります。

起業家精神と自立想像型の相互支援

今年度、アントレプレナーズ委員会は、「夢」「目標」や「ビジョン」を持つ仕事をしているか、というテーマで、全国からの起業家の方々と連携し、地域社会の活性化に貢献しました。具体的には、起業家の方々に、自分自身の「夢」「目標」や「ビジョン」を明確にし、それを達成するための具体的な計画を立て、実行することを促す活動を行いました。

今年度、アントレプレナーズ委員会は、「夢」「目標」や「ビジョン」を持つ仕事をしているか、というテーマで、全国からの起業家の方々と連携し、地域社会の活性化に貢献しました。具体的には、起業家の方々に、自分自身の「夢」「目標」や「ビジョン」を明確にし、それを達成するための具体的な計画を立て、実行することを促す活動を行いました。

部会紹介

平成13年度アントレプレナーズ委員会は6部会で構成されています。

ニュービジネス交流部会

お菓子屋さん、お惣菜さん、お漬物メーカー、ソフト会社、コックシーターさん等々、多岐にわたるメンバーが参加し、ワイワイガヤガヤしています。お互いの会社や事業を知ってもらうことから始まり、今ある技術や商品を全く異なる業種の人とのヒントやアイデアを出してもらっています。ある時は他人へのアドバイス、またある時は互いのアドバイスを求める場になります。協力から技術へと発展することもあります。

中心市街地活性化部会

中心市街地活性化部会はTMO(Town Management Organization)に関してYEGが取り組んでいる取り組みを広く研究活動を通じて取り上げ、平成13年にスタートしました。この部会は、毎年10月を以てその成果を発表する「年間アワード」を設けています。部会では1年1回「TMOが何を変えたか」、2年1回「YEGがTMOを変えたか」というテーマで調査研究をしてきました。結果、YEGの認知度が3-4%と以外に高く、創成制度もTMO専任にはあるがそれを推進する組織には無いなど、事業自体が後まの理由を把握する事ができました。今年度は、「YEGが何を変えたか」をテーマとし、アンケート調査を行い、YEGの認知度を調査しています。

地域振興NPO推進部会

NPOは、国や地方自治体等の公的機関ではなく民間であること、また、企業のように利潤追求をせず、広い意味での社会的使命に依りて公益的な活動を行うものです。そのNPOが事業の創出、事業展開の担い手として注目されています。NPO推進部会には、群馬県伊勢崎市内にあるNPO法人「環境ネットワーク」の代表者や理事さんなどがおられますので、これまで、設立までのプロセスや様々な取り組みについて説明頂き、メンバーの知識のレベルアップをはかっています。また、参加者自身も自らNPOと提携するYEGメンバーの参加も促し、NPOの魅力を伝える活動を行っています。YEGとの関わり方やNPOの手法の有効性を確認しました。特に、行政がNPOを支援しようとしているのか、行政側から見たNPOの役割や必要性を確認したいと思っています。

ベンチャービジネス部会

ベンチャー(起業家)としての素質向上のため、全国各地より各部会に集まるが、各個人の表現、地域事情の違いから、共通の題材がなかなか決められずスタートが遅れています。しかし、高層でベンチャーを推進する意味、YEGだからこそ考えられること、各地域に持ち帰って役に立つ内容を考えてみる、やはりネットワーク、交流と共生をテーマにした部会となります。

インターネット情報ビジネス部会

長年、インターネット情報ビジネス部会は、昨年より続けて、IT、インターネットビジネス情報に関する幅広い分野から、SEOやインターネットマーケティングを軸としたビジネスの企業及び高層化、全国3万人の青年部長への情報発信が目標です。特に今年度は、意見の交換、アイデアの提案、討論という広大なコミュニケーションが、インターネット上で可能になるグループウェアソフトを、部会内で試用して、IT部会全体のネットワークを確立し、積極的に青年部長3万人のネットワークの構築を目指しています。さらに、そのネットワーク上で、BtoBの構築のための方法やIT導入、電子取引等に関してネット上で意見交換し、インターネットが活用できれば自分に、自社にそして青年部長に活かせるの提案し、実現していきたいと思っています。

環境ビジネス部会

環境ビジネス部会は、11人でスタート、アンブレの中でも少人数部会です。しかし、人数が少ない分、話がまとまるのも早く、比較的ある部会です。まずは、この部会をどのような方向で進めていくか話し合い、その中で環境問題に関与する方法として、「すべてをビジネスに結びつけて考えること」が、これからは必要になってくる。この意見の一致を得ることが出来た。そこで、部会としての活動方法を環境問題の解決の中から、ビジネスに展開していくことにより、環境問題などを少しでも解決できるものを探りたい、その内容や問題点を調査研究する事と、ビジネス展開の手法は後述する事に決めた。



Symbol Logomark

第21回商工会議所青年部全国大会

2001年11月

8木 9金

小田原箱根大会開催

2001年11月8日(木)9日(金)

全国大会小田原箱根大会が開催された。
全国357単会から3,568名に参加いただき、
ご縁満開に感謝!

去る十一月八日九日、全国大会小田原箱根大会、全国三五七単会から三五六八名という多くのYをむかひの箱根のYを参加いただき、無事開催させていただきましたことを、まずは心より御礼を申し上げます。

大したおもてなしもありません。また、至らぬことばかりで、大会会場の力不足と心苦しく存じます。それでも、何となくここまで運営されたのは、いろいろな力があるから、いろいろな場面でいろいろな交わりで助けてくれたおかげと、そう素直に感謝しております。ありがとうございます。

新しい時代には新しい全国大会を！
キーワードは「変革」と「連携」「実践」「リアル」

「全国大会をやらなせよ」という手を挙げてから七年が経りました。メンバーも世代交代をし、時代も変わりました。商売を取り巻く環境はよりいっそう厳しくなっています。私たちが商売人はよりいっそうの自己変革が求められています。そんな中で迎える二十一世紀最初の全国大会、「新しい時代には新しい全国大会を」という思いで、商売者が日商の歌歌に戦った最初のこの記念すべき時に、商売人の集まりである我がYEGの原点を見直し、「変革」のキーワードを念頭に、古泉会長が掲げられたスローガンの「実践」「実践」「リアル」のキーワードを形にすべくYEGに設立して新しい全国大会を目指しました。「あなたたちは新しいYEGをYEGの仲間と出逢います。出会いとともに、あなたの商売に役立つヒントが見つかります。YEGの良であることの素晴らしさを実感していただきます。そして、宝物にならないたくとんのお土産とともに二十一世紀への元気を差し上げます。あなたが主催の全国大会です。」そんな大会を目指しました。

合言葉は「ご縁満開」
ハイテックハイタッチなおもてなし

「ご縁満開」を合言葉に掲げ、地元メンバー二五〇名による「お世話書」やYEGを応援した「新しいお世話書」というハイテクのハイタッチをおもてなしの新しい試みにもチャレンジさせていただきました。単に大会当日だけを全国大会と捉えるのではなく、事前も事後も含めての企画とし、大会が始まる前からのご縁取り、大会中での自分なりの情報提供を通じて、お世話書には目的意識を持って小田原箱根の地に生きて大活躍できるようにしたい。主催YEGと全国からの参加者YEGの間の「ご縁」を、そして、全国のYEGとお互いの出会いの場を提供したい。そして大会当日は、田舎の友に会うワクワク、その二種が大会前夜にも響きわたることを希望します。

また、演説に役立った大会というところで、ビジネス交流プログラムをつづいて、小田原箱根YEGのビジネスフォーラム(2)と

始打つて、本大会のメインイベントと位置づけました。ワタタミの渡邊社長の夢に日々向け、「河野太郎の流通博覧会」(二)「ガリガリアン」(三)「八咫金の野口誠」(四)「いっせいで、フロント」の福島正輝、NPO、M&Aなど、さらには「エターナル」豊かな講師の資格による講演会とセミナーを企画するもよし。六〇を超えも全国からのYEGと内外の企業ブームを覗いて、商談をするもよし。プレゼンテーションを聞くもよし。新しい友人と語り合うもよし。という企画でした。箱根に役立つ気持も、情報、ビジネスヒント、チャンスを見つけていただけましたか？お世話書、お世話書のしくみを通じて知り合ったまだ会わぬYEG仲間との出会いの場になりましたか？

初日の最後は、大徳観音と温泉旅館での別荘、神奈川のうまいものを食べ、箱根ならでもおもてなしを企画しました。いがいがでしたでしょうか？温泉の湯気はいいかがでしたでしょうか？

日が変わつて二日目、元氣溢れる記念式典は、全国から一堂に会するYEG会員の一体感の醸成と来賓の方々を通じてのYEGの外部へのPRの場になったのではと手前味噌ながら思いました。

記念講演では、講師をお招きしておりました樋口毅の発想というアクションアワードで催されました。しかし、多くの方々のお力添えのおかげで、近藤剛毅のお話することができました。セラとしました。小田原の西原街との連携した「YEGまちおこし」物産展でも多くのYEGの友情が花開いたようです。出席してくださったYEGの皆様、ありがとうございます。

ここにYEGという素晴らしい集まりがあり、手を差し伸べれば振り返してくれる素晴らしい仲間がいる！

大会が閉幕した今、思いの何分のかが形にできたのだろうかと思っております。しかし、はつきりと確信できたことは、「ここにYEGという素晴らしい集まりがあり、手を差し伸べれば振り返ってくれる素晴らしい仲間がいる」ということです。大会の閉幕は終わりではなく、全国YEGの首脳はじめこの大会にいらるお立ち寄りの方々を待っています。演説の「縁が、次には大きな夢を結びつくれることを祈っております。

初夜でもよい足りない思いを込めて、「ありがとうございます。ありがとうございました」またお会いできる日の夢からゆめ(ご縁)を待っています。

小田原市長、小田原YEGの傍には本気でよくよく頑張りました。この場で身内を愛めるのは其の場限りには承知していただきますが、二日ばかりを回わすください。



「ご縁満開」を合言葉に掲げ、地元メンバー二五〇名による「お世話書」やYEGを応援した「新しいお世話書」というハイテクのハイタッチをおもてなしの新しい試みにもチャレンジさせていただきました。



次年度大会の開催



全国大会小田原箱根大会の式典



全国大会小田原箱根大会



全国大会小田原箱根大会

ブロック大会報告

北海道
ブロック

深川大会

「共生して自立 たちはがれ若き起業家たち」

平成13年6月20日(9月)、北海道は第11回VBC主催の「北海道ブロック大会」を開催された。

当ブロック大会は、開催地テーマ「赤松、目玉 たちはがれ若き起業家たち」の地味に、北海道内のVBCメンバーをはじめ、全道連発祥会の関係者、また全国のVBCメンバー、総数135名のご来賓がご参加いただき、開会式典・記念講演会・大型宴会会場大に行われた。

当ブロック大会を通して、時代を切り拓き若き経営者の連携および共創・共栄・情愛交換を行うことができたのではないかと、いふ。

本大会の開催に際しましては特にお力に支えていただいたご賛助者、ご来賓、またご登壇ご参加いただいた皆様、ご参加にこたえ感謝申し上げます。



関東
ブロック

宇都宮大会

「首都から広がるネットワーク」

平成13年6月23日、栃木県内の各県の協力の賜により、3日(土)に栃木県総合文化センターにて、関東ブロックの第10回年次総会、開会式典、講演会、実業家交流会(1200名)の開催により、「首都から広がるネットワーク」をテーマに「関東ブロック大会 宇都宮大会」を開催された。

開会式典では、各道県経済産業局長、知事、市長、議員、県庁長官、宇都宮商工会議所会館長、青年商団に対する挨拶を込めた挨拶があった。宇都宮ブロック大会、栃木県商連会館長が主催者として、青年商団の誇りと意気込みを述べた。続いて、宇都宮ブロック大会の報告があった。宇都宮ブロック大会は、栃木県商連会館長が主催者として、青年商団の誇りと意気込みを述べた。続いて、宇都宮ブロック大会の報告があった。

記念式典では、各道県経済産業局長、知事、市長、議員、県庁長官、宇都宮商工会議所会館長、青年商団に対する挨拶を込めた挨拶があった。宇都宮ブロック大会、栃木県商連会館長が主催者として、青年商団の誇りと意気込みを述べた。続いて、宇都宮ブロック大会の報告があった。

この大会が、栃木県に開催されたのは、各道県年次総会と異なり、各道県からの来賓によるものであり、今後、青年商団のネットワークをさらに、各道県経済産業局長等による連携により、企業の発展、地域の活性化に繋げていくことに努めます。

中国
ブロック

児島大会

「新世紀 始めの一歩 児島から」

中国ブロック大会は、友好に盛り上げ、また、進歩大会の発展を促して、好評のうちに終了しました。ブロック大会の開催は、多くの参加者を集め、大成功に終わった。

「新世紀 始めの一歩 児島から」というテーマで、中国ブロック大会の開催は、多くの参加者を集め、大成功に終わった。



「新世紀 始めの一歩 児島から」というテーマで、中国ブロック大会の開催は、多くの参加者を集め、大成功に終わった。

東北
ブロック

弘前大会

「情熱と友情に感謝」

平成13年7月21日(22日)に開催された東北ブロック大会は、弘前市で開会式典が行われ、東北ブロックの各道県各会から、多数のVBCの幹部、出席者多人数の参加があった。

開会式典では、東北ブロックの各道県各会から、多数のVBCの幹部、出席者多人数の参加があった。

開会式典では、東北ブロックの各道県各会から、多数のVBCの幹部、出席者多人数の参加があった。

開会式典では、東北ブロックの各道県各会から、多数のVBCの幹部、出席者多人数の参加があった。



東海
ブロック

豊橋大会

「Heart to Heart YEG一歩を踏んで」

平成13年6月28日、「Heart to Heart YEG一歩を踏んで」と題した豊橋YEG主催による「東海ブロック大会」が、豊橋市で開催された。

開会式典では、東海ブロックの各道県各会から、多数のVBCの幹部、出席者多人数の参加があった。



四国
ブロック

宇和島大会

皆さんに支えられ「い・わ・せ」

平成13年6月28日、第18回四国ブロック大会が開催された。

開会式典では、四国ブロックの各道県各会から、多数のVBCの幹部、出席者多人数の参加があった。



北陸
ブロック

村上大会

「手を結び共に歩もう21世紀」

新潟県村上市にある村上大会会場は、9月27日(9月)、新潟県村上市で開会式典が行われ、北陸ブロックの各道県各会から、多数のVBCの幹部、出席者多人数の参加があった。

開会式典では、北陸ブロックの各道県各会から、多数のVBCの幹部、出席者多人数の参加があった。



近畿
ブロック

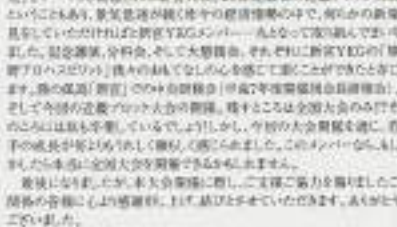
新宮大会

「新宮・新世紀・新発見」

近畿ブロック大会は、新宮市で開催された。

開会式典では、近畿ブロックの各道県各会から、多数のVBCの幹部、出席者多人数の参加があった。

開会式典では、近畿ブロックの各道県各会から、多数のVBCの幹部、出席者多人数の参加があった。



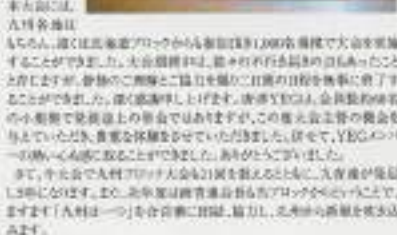
九州
ブロック

唐津大会

「九州はひとつ、起こそう!新世紀維新」

九州ブロック大会は、唐津市で開催された。

開会式典では、九州ブロックの各道県各会から、多数のVBCの幹部、出席者多人数の参加があった。



塾生翔



平成十三年六月六日出発、三泊四日 翔生塾「韓国ツアー」

写真と文●読者委員会 新里建二

六月六日 平成十三年六月六日、上野五反田駅前発の飛行機で、翔生塾のメンバーを乗せた航空機が、韓国に飛出しました。仁川(インcheon)国際空港に到着したメンバーは、まず大韓航空のバスで、ソウル(Seoul)の市街地を観光し、その後、大田(Daegu)市まで移動しました。大田は、韓国の中部に位置し、人口約100万人を擁する、韓国の主要産業地帯の一つです。この日は、韓国の主要産業地帯を視察し、大田市の産業振興局と会談しました。大田市の産業振興局長は、大田市の産業振興の現状と今後の展望について、翔生塾のメンバーに説明しました。大田市の産業振興局長は、大田市の産業振興の現状と今後の展望について、翔生塾のメンバーに説明しました。

六月七日 六月七日、大田市の産業振興局と会談したメンバーは、大田市の産業振興局の施設を視察しました。大田市の産業振興局の施設は、大田市の産業振興の現状と今後の展望について、翔生塾のメンバーに説明しました。



▲2001年7月10日、大田市長と会談

大田市の産業振興局長は、大田市の産業振興の現状と今後の展望について、翔生塾のメンバーに説明しました。大田市の産業振興局長は、大田市の産業振興の現状と今後の展望について、翔生塾のメンバーに説明しました。



▲2001年7月10日、大田市長と会談

▲2001年7月10日、大田市長と会談

六月八日 六月八日、大田市の産業振興局と会談したメンバーは、大田市の産業振興局の施設を視察しました。大田市の産業振興局の施設は、大田市の産業振興の現状と今後の展望について、翔生塾のメンバーに説明しました。



▲2001年7月10日、大田市長と会談



▲2001年7月10日、大田市長と会談

大田市の産業振興局長は、大田市の産業振興の現状と今後の展望について、翔生塾のメンバーに説明しました。大田市の産業振興局長は、大田市の産業振興の現状と今後の展望について、翔生塾のメンバーに説明しました。

六月九日 六月九日、大田市の産業振興局と会談したメンバーは、大田市の産業振興局の施設を視察しました。大田市の産業振興局の施設は、大田市の産業振興の現状と今後の展望について、翔生塾のメンバーに説明しました。



▲2001年7月10日、大田市長と会談



▲2001年7月10日、大田市長と会談



▲2001年7月10日、大田市長と会談

ヤングリーダー研修



●平成13年10月18日
 場所 ●京都
 日本ホテルプラザ（京都市）
 定員 ●425名

文●研修委員会 木下一成



▲研修委員長

平成十三年十月十八日、京都市のホテルプラザにて開催された「平成十三年ヤングリーダー研修会」の会場で、YEGの研修委員長である木下一成氏が、研修会を主催するYEGの活動について、研修生に対して講話を行いました。講話の中で、YEGの活動の重要性や、研修生としての役割について話されました。

研修会には、三福構成で、第一種（江時代）から第三種の各年代の代表者が参加し、研修会中、研修生は、第一種から第三種まで、それぞれ異なる研修プログラムを受けます。また、研修会では、研修生が自ら企画・運営する「自主研修」も行われます。研修会では、研修生が自ら企画・運営する「自主研修」も行われます。研修会では、研修生が自ら企画・運営する「自主研修」も行われます。

▲講演の様子

「第一種」として、研修生は、研修会中、研修生は、第一種から第三種まで、それぞれ異なる研修プログラムを受けます。また、研修会では、研修生が自ら企画・運営する「自主研修」も行われます。研修会では、研修生が自ら企画・運営する「自主研修」も行われます。

「第二種」は、第二種代表者研修生が、第二種代表者研修生として参加し、研修会中、研修生は、第二種から第三種まで、それぞれ異なる研修プログラムを受けます。また、研修会では、研修生が自ら企画・運営する「自主研修」も行われます。研修会では、研修生が自ら企画・運営する「自主研修」も行われます。



▲講演の様子

「第三種」は、第三種代表者研修生が、第三種代表者研修生として参加し、研修会中、研修生は、第三種から第四種まで、それぞれ異なる研修プログラムを受けます。また、研修会では、研修生が自ら企画・運営する「自主研修」も行われます。研修会では、研修生が自ら企画・運営する「自主研修」も行われます。

「第四種」は、第四種代表者研修生が、第四種代表者研修生として参加し、研修会中、研修生は、第四種から第五種まで、それぞれ異なる研修プログラムを受けます。また、研修会では、研修生が自ら企画・運営する「自主研修」も行われます。研修会では、研修生が自ら企画・運営する「自主研修」も行われます。

▲研修会の様子

平成13年第19回商工会議所青年部
全国会長研修会 久留米会議

連続YEG実践展開 パーチャルからリアルへ

2002年2月8日(金) 9日(土)

予告

研修会

こころの発信
Switch on

2002年2月8日[金] 14:00~18:00
市民会館大ホール

■前期の交流会
2月7日[木] 19:00~21:00
会場/割増 夢見館/10,000円

■大型研修会
2月8日[金] 19:00~21:00
会場/夢見館大ホール

■会員研修会
2月9日[土] 10:00~11:30
会場/新巻園ホテル

若き経済人が、夢を語る。仲間の顔が見えてくる。
 みんなの思いが、聞こえてくる。「久留米会議」でー。

「第一種」は、第一種代表者研修生が、第一種代表者研修生として参加し、研修会中、研修生は、第一種から第二種まで、それぞれ異なる研修プログラムを受けます。また、研修会では、研修生が自ら企画・運営する「自主研修」も行われます。研修会では、研修生が自ら企画・運営する「自主研修」も行われます。

今回は全国の青年部内で話題?の「若手後継者等育成事業」のレポートをお届けします。

恐怖の自己内面分析!



▲九州ブロック・宮崎県連

九州ブロック 宮崎県連
日向・高鍋商工会議所青年部
写真と文 ●宮崎県連出内理事 水窪真樹

重要な自己内面分析及び意識改革をテーマに、研修会を開催した。この本を読んだ方も多いと思うが、本の中にはあんなと子びとがやると、その行動パターンと自分と照らし合わせる事で自己の行動パターンや自己対峙が出来てくるようになっていく。おのれの参加者の意識はさまざま。こんな研修ではなかったとしても、この研修をテーマに、アウトプット出来る機会が少ないメンバーに、このような研修に打ち込んでほしい。今後ともこのような研修が実施できればと願う。



▲山口県内のイベント会場

4単会が力を合わせてイベントを企画運営!

東海ブロック 三重県連
津・久居・鈴鹿・亀山商工会議所青年部
写真と文 ●三重県連出内理事 笠岡 清

津・久居・鈴鹿・亀山商工会議所青年部では、平成13年若手後継者等育成事業の一環として、地産地消推進事業の一環として、津市、地産地消推進委員会、中勢北部サイエンスセンター、津市、地産地消推進委員会、行政、民間企業、地域との連携、交流及び地産地消の発展等を目的とした総合イベント「こゝろあいのスリースイート」を開催し、大盛況でした。当日は天候にも恵まれ、また、各単会の協力もあり、大変成功しました。

皆さんのご意見お待ちしております。

このコーナーでは、全国の青年部メンバーからのごくばらんな投稿をお待ちしております。お問い合わせは各県出内理事または商商連ホームページまで!



▲山口県内のイベント会場

- O 平成13年度 会長・副会長・専務理事挨拶 …… 1
- O 委員会・ブロック紹介 …… 2
- Z アントレプレナーズ委員会紹介 …… 3
- T 全国大会報告 …… 4
- E ブロック大会報告 …… 5
- N 翔生塾 in 韓国 …… 6
- T ヤングリーダー研修 全国会長研修会PR …… 7
- S YEG見聞録北から南から 編集後記 …… 8

編 集 後 記

今回は、「翔生」発行が滞りまして大変な迷惑をお掛けしました。まずは、お詫言ひ申し上げます。

Editor

今回、編集の任に任されたのは、山崎浩一君。彼は、今回の編集を通じて、自分の成長を感じた。今回、編集の任に任されたのは、山崎浩一君。彼は、今回の編集を通じて、自分の成長を感じた。

今回の編集を通じて、自分の成長を感じた。今回の編集を通じて、自分の成長を感じた。

今回の編集を通じて、自分の成長を感じた。今回の編集を通じて、自分の成長を感じた。

今回の編集を通じて、自分の成長を感じた。今回の編集を通じて、自分の成長を感じた。